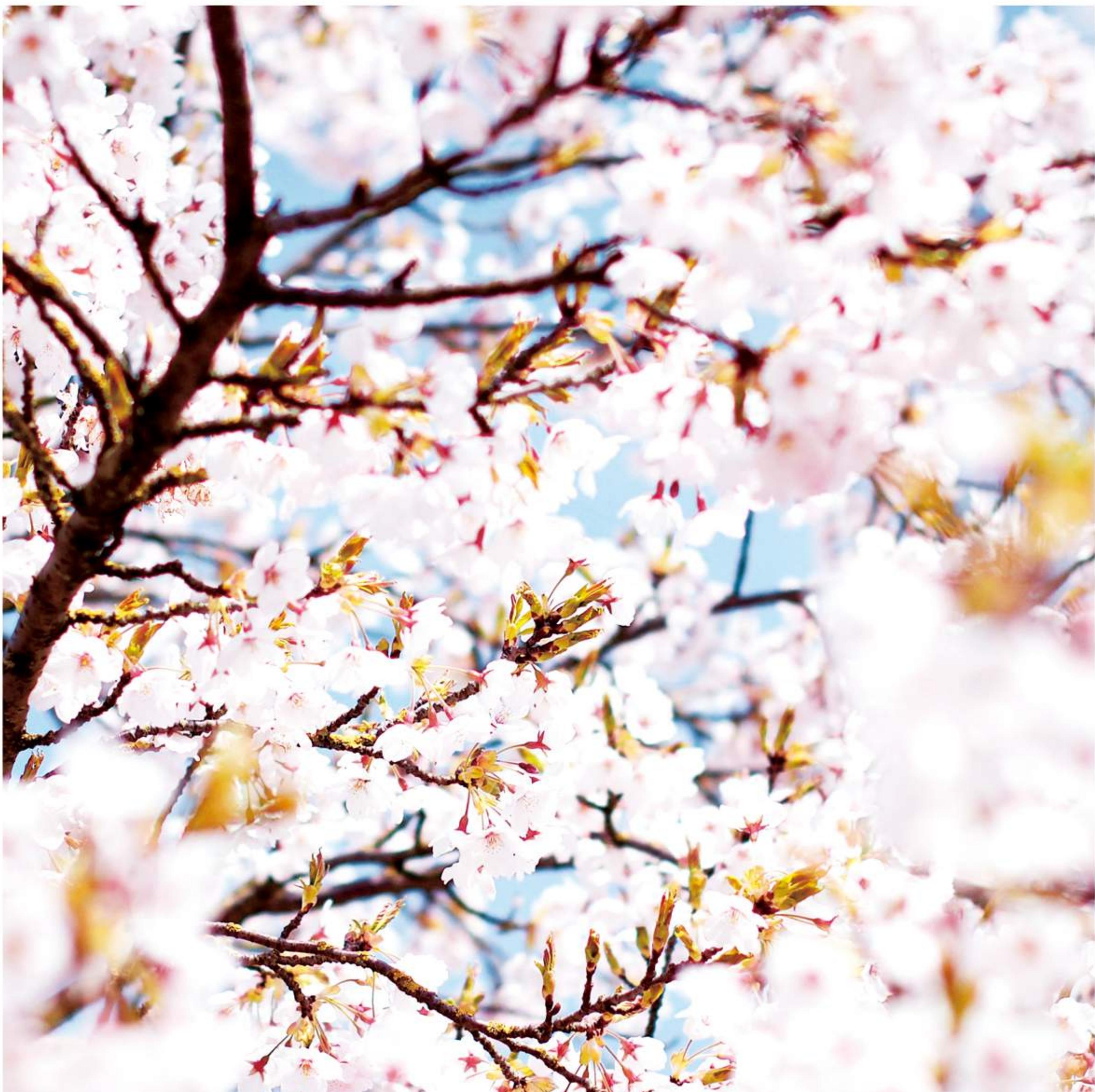




IHAN通信

vol.1
2016 April

特別号



CONTENTS

- ルミナス訪問看護ケアステーションの軌跡と未来
- ルミナス ホリスティックケア アカデミーのご紹介
- 未病のうちに病気を予防 「クリニック 真健庵」
- 4月20日から開講 「開華セミナー」の魅力に迫る！

平素より、国際ヒーリング看護協会（IHAN）へのご支援、誠にありがとうございます。

このたびIHANでは「心、体および、魂までも含めたケアの普及」を目指すにあたり、ルミナス・ホリスティックケア・アカデミー（LHCA）を開講する運びとなりました。

役員、講師の皆様をはじめ、スタッフの多大なる協力・支援を賜り、このような素晴らしいプログラムとして世の中にご紹介できる機会を頂けましたこと、心より感謝申し上げます。

国際ヒーリング看護協会は、設立当初より活動方針の4つの柱「実践」「教育」「研究」「交流」を確立するためにスクール構想は常に念頭にありまして、現在に至るまでにも日々企画を重ねてきた次第であります。

世の中に送り出すホリスティックナース・セラピストの役割の重要性、教育の責任を重んじ、試行錯誤しながらも、小さなセミナーなどの開催を続けて参りました。

やさしさ、無償の愛こそが癒しの根底であり、慈愛あふれるホリスティックナース・セラピストの育成には、愛ある講師のもとで愛を育んでいくことが何よりも重要である—そのような帰結に至った時、素晴らしい講師たちとの運命的ともいえる出逢いが始まったのです。



IHANが新たな 看護の扉を開く

先日行われました懇親会や体験会の会場でも、素晴らしい言葉があふれる中「この先生たちのもとで学びと気づきを得た生徒たちならば、自信をもって世の中に送り出せる」、そう確信いたしました。

ホリスティックナーシングで一番大切にされていることは、セルフケアです。

自分軸をしっかりと立て、相手に寄り添い、「あなたはわたし、わたしはあなた」の精神でケアにあたることで、究極の癒し、ヒーリングがおきてくると言われております。

それは、心、体、魂の調和であり、すべての階層で癒しが起こることによって、その方の思考、行動パターンが変わり、人生そのものが変わっていくという、奇跡の過程であるとも言えるでしょう。

結果的に病気自体が癒され、心も体も魂も元気になることで劇的な改善を見せることもありますが、私たちの目的は、病気を治すことでもなく、癒しを起こすことでもなく「その方のすべてを受容し、愛すること」であるように思います。

これから看護がより充実した素晴らしいケアとなっていくことを期待して、皆様とともに、そして「あなたがあなたらしくあるため」に、人生を創造するお手伝いをさせていただけましたら、大変うれしく思います。

これからも共に歩き、そして、より良い医療の未来を、ひいては人類の未来を構築していきましょう。

国際ヒーリング看護協会 理事長
中 ルミ

会費改定のお知らせ

特定非営利法人国際ヒーリング看護協会（IHAN）が発足して、今年の8月で7年目に突入します。

7という数は「革命数」とも言われている数。IHANも活動を新たに刷新し、今まで以上に活発で充実した活動内容を提供していきたく思っている次第です。

まず一番に今年改革の目玉にあたるのは、「ルミナス ホリスティックケアアカデミー」の開校です。このたび、スクール開校に向けて、IHANの会費の改定がなされ、1月11日（月）の臨時総会にて改訂内容が承諾されました。改訂された内容や会費については左表をご参照ください。

会員種別		入会金	年会費 or 一口
一般会員	専門会員を除く個人	5,000円	6,000円
専門会員	医師、看護師ほか、関係職種の方	5,000円	12,000円
賛助会員	本協会の事業に賛助する個人または団体	10,000円	(一口) 20,000円以上
法人会員	本協会の事業に賛助する法人・企業	20,000円	(一口) 50,000円以上

今回の改訂で一番大きく変わったのは、**会員種別**です。専業主婦や会社員といった一般職種についている方を「一般」とし、医療従事者の方は「専門会員」とさせて頂きました。

ここを分けた理由としましては、スクールに入学する際、「ホリスティックナース」、或いは「ルミナス訪問看護ステーション」の開業者を目指す方と、セラピストとして進む方と選んで頂く講座に差が出てくるためです。

会費の値上げという形にはなっておりますが、IHANは今まで以上により充実したイベントやセミナーの開催をしていきたく思っております。

生まれ変わったIHANでは、会員の皆様ひとりひとりがIHANの中で活躍し、ご自身の活動を紹介する機会を得たり、研究成果を報告したりなどしながら、IHANという組織のシステムを作り上げていくようにしていくたい、そう願っております。

個は全体を兼ね、全体は個を兼ねる

：といいますが、これから時代は、個人と組織全体が一体化し、「ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために」という活動が理想的だと考えています。

「会員の皆様、ひとりひとりを大切にしたい」というIHANの思いは設立時からまったく変わっておりませんので、生まれ変わったIHANの新展開を、どうぞ楽しみにしていてくださいませ！

法人会員募集のお知らせ

個人だけでなく、法人会員も大募集中です！

国際ヒーリング看護協会では、人々がよりよく生きられる社会をつくるために医療・生活・社会におけるさまざまな分野で、ホリスティックケアの思想・理念を普及し推進する努力を続けてまいります。

※法人会員として、入会ご希望の方は、本部事務局までお申込みのうえ、会社概要をご送付ください。なお、入会に際しましては、理事会で承認の手続きが必要となります。

また、法人会員としてご参加下さった方の元を取材させて頂き、会報でご紹介します。

今回は「クリニック真健庵」様を取材させて頂きましたので、ぜひ、参考になさってください。

ルミナス訪問看護 軌跡と未来



▲ルミナス訪問看護ケアステーションでは、アロマやヒーリングの実践練習も出来ます。

I HANは今年で7年目に突入、そして、「ホリスティックケアの普及」を目指して設立されたルミナス訪問看護ケアステーションは、今年で5年となります。

I HANにとつてもルミナス訪問看護ケアステーションにとっても節目となる「今」、改めて、ホリスティックケアという多くの人にはまだあまり知られていない分野を開拓していく軌跡と、これからの方々に語って頂きました。

中ルミ理事長（以下、中）そ

うですね。やっぱりまだ誰も伝えたいことがありますよ。

ホリスティックケアを普及させていく大変さを、苦労とは感じていなかつた

—訪問看護ステーション立ち上げにあたって大変だったこと

と、および、ホリスティックケアという医療の中ではまだ未知の領域とされているものを実践していくことで大変だったことなど、これからホリスティックナースを目指す方に向けてお

ります。

やつていなかつた分野だつたので、アロマとかヒーリングなどが保険で本当に通るかどうかということが分からなかつたし、やつてみないとす

べて何も分からぬといつた状況でしたね。しかも、私は運営とか経営とかをしたことなかつたので、もう本当に、ひとつひとつ皆さんに協力頂きながら、何とか進めて来られたという感じです。それで基礎が出来てきたんですね。

アロマとかヒーリングなどは、実際の現場で実践すると本当に皆さんに喜んで頂けるケアです。実際にやっていく中で手応え的に得られたものは沢山ありました。例えば、患者さんのQOL（生活の質）が大きく向上して、出来なかつたことが出来るようになつたりとか、疼痛が緩和されたりとか。

—

ですので、ケアとして「充分活用していく」ということを、皆さんに実践によって証明していく」とは出来ていまし

た。その実践を積み重ねていくのが——まあ苦労と言えば、苦労ではありました（笑）。

— そうはいつても、やっぱり理解してくれない方々もいたし、アロマなどはようやく最近一般の病院の中で認知されてきていますけれども、それまでは「何でアロマが看護に役に立つの？」っていうように看護師の中でも批判的なことを言われてきたつていうことを耳にしてきましたしね。

ましてや「ヒーリング」ということは往々にしてあります。

— 以前、ヒーリングのための教室を公民館的などところで開いたのですが、「公共の施設を使つて、そういうことをやって、そういうことをやつていいのか！」みたいなことを言って、わざわざ偵察に来るような人もいたしね（苦笑）。

— 実際に立ち上げた時に営業で「ホリスティックケア」として説明していたと思うんですけど、立上り当時のケアマネさんの反応はどうだつたんでしょうか？

— 賛否両論ですね。中には「待つてました！」って人もいたけれど（笑）。

— 「緩和ケアって一般的に言われているけど、既存のケアをみていて『何が緩和ケアなのかな？』ってすつと疑問でした。

う思いでやつてきたので、あまり苦労という自覚はなかつたかもしれません。

— 例えば「何で電気がつくのか」っていうのが分からなくても、明るくて便利なら使えばいいだけなのに、って思っちゃうの。だから、それをどうすればもっと皆さんに分かりやすく、普及していくのかなっていうのは常に考えています。



中 ルミ

千葉県医療技術大学校第一看護学科卒業。元科学技術庁放射線医学総研究所にて癌看護に務める。心と体と魂の三身一体のホリスティック医療に興味を持ち、アロマやヒーリングなどの代替療法を取り入れルミナス訪問看護ケアステーションを立ち上げ、啓蒙と普及に努めている。

国際ヒーリング看護協会理事長

<http://npo-ihan.net/>

立ち上げ当時の社会の反応は：

— 実際に立ち上げた時に営業で「ホリスティックケア」として説明していたと思うんですけど、立上り当時のケアマネさんの反応はどうだつたんでしょうか？

— 中賛否両論ですね。中には「待つてました！」って人もいたけれど（笑）。

— 「緩和ケアって一般的に言われているけど、既存のケアをみていて『何が緩和ケアなのかな？』ってすつと疑問でした。

でもルミナスさんと出逢つて、緩和ケアってこうひう」と言ふんだ、っていうのが分かりました」つて言ってくれるようなケアマネさんもいらっしゃったんですね。

ホリスティックケアっていう言葉を聞いただけだと「怪しい」とか、「何それ」つて思われるようなこともあるのかも知れないけど、自分の理解できないものを排除するのではなく、まずは「受け入れてもらう」そこが大事ですよね。そして、実際にやってみてどうだったのかといふ検証において、「利用者さんがこんなにリラックスするようなこと、今までなかつた」つていうふうに実感して頂けるようなれば、ひとつ関門はクリアされたということになりますし。

ケアマネさんの報告で「今まで苦情が多くたった利用者さんからも、苦情の電話がなくなりた」とか言つてもうえたり。やっぱり、それは癒しの力だなーって思うんですよね。

—訪問をやつているとどうしてもルーチンケアになつてしまつている看護師が散見されけれど、それではいけない、つてところですね。

中 それは病院でも同じだと思ふんですね。ルーチンの仕事

をこなすだけになつてしまつていて、「本当にやりたかったことって何だろう」とか、みんなが見失つてしまつていい。今は医療従事者不足で看護師離職が問題視されている中で、何故うちのステーションに熱意のある人が次から次へと訪れてくるのかと言えば、やっぱりみんな「やり甲斐を求めてる」からだと思うんですよ。どんなにお給料が高くて、病院の求人ってそんなに来ないでしょ？

金銭的な豊かさじゃなくて「心の豊かさ」や「精神的な豊かさ」を求めてる看護師さんたちが増えてきているのかなって感じますね。それは看護師だけじゃなく、世の中全体にも言えることかもしません。今という時代はすぐ豊かな世の中になつたけれども、一見それは心の貧しさを生み出している、つていうね。マザーテレサも日本にきて「こんなに貧しい国はない」って言つていたけど、本当にそうだな、って思います。だからこそ、こんなに鬱が増えたり自殺者が増えたりしてるわけじゃないですか。

「うした社会的な傷をケアする」とも、一種「看護師の役目」だと思うんです。

ホリスティックケアとして心のケア、社会全体のケア、社会的な生き甲斐とかその人のニーズを満たしてあげるようなことを計画の中に入れられるといなつていうふうに思つてますね。そうすると魂が本当に生き甲斐をもつて、それこそ病気になつていられなくなる。元気になつていくんですね。

ヒーリングの醍醐味つてそういうところにあって、病気を治すだけじゃないんですよね。その人の人生を創造していく、共に計画をたてて、人生のものをクリエイティブしていけるつていうのが、本来のヒーリングの根源にあると思います。

今までには「生きることを拒否していた」ような感じだった。食べるのもほとんどしないがつたし、それがだんだん食べられるようになってきて、意欲的になってきて「何かやりたい！」っていう気持ちになってきて、パステルアートをやり始めたから。それが逆に功を奏してきたのかかもしれないけど（笑）。もう利尿剤もないから腹水も全然ひかなくて、それが本当に、で帰ってきて、大丈夫なんですか？」って話してたぐらいなのに。もう病院だとケアもきかないし、利尿剤もきかないしまつたから。それが逆に功を奏したのかも知れないと、もう利尿剤もないから腹水も全然ひかなくて、それが本当に、で帰ってきて、大丈夫なんですか？」って話してたぐらいなのに。もう病院だとケアもきかないし、利尿剤もきかないしまつたから。それが逆に功を奏したのかも知れないと、

くようになつたら、病気になつたことへの罪責感が、感謝の気持ちへと変わっていったんですね。そうなることで、その利用者は大きく変化していくのです。



▲亡くなる一週間前の写真とは思えないほど、素敵な表情です。

最初は座ることも出来なかつたの、腹水もたまっていたし。だから、ケアマネさんもすごくびっくりしていてね。ケアマネさんも最初は「こんな状態で帰ってきて、大丈夫なんですか？」って話してたぐらいなのに。もう病院だとケアもきかないし、利尿剤もきかないしまつたから。それが逆に功を奏したのかも知れないと、もう利尿剤もないから腹水も全然ひかなくて、それが本当に、で帰ってきて、大丈夫なんですか？」って話してたぐらいなのに。もう病院だとケアもきかないし、利尿剤もきかないしまつたから。それが逆に功を奏したのかも知れないと、



浮腫状態がまったく綺麗になりました。(左→右) ▲

というか、シンクロニシティが起きるようになつてゐるんだよね。そうすると覺りの境地になつたりとか、ついてるつてい波に乗れるというかね、私も心配していないつていう言い方は変だけど「なるようになるんだな」っていうのが分かるようになつてきました(笑)。

終末期におけるホリスティックナースの役目

があるので、それを実践したり、アロマなどもやつたし、あとは食事が全部食べられるようになつたっていう栄養改善も良かったんだと思うんですよ。本当に、薬も何も使わなかつたらね(笑)。足も両足パンパンで、両手でおろさないとおろせなかつたのがスッキリしちゃつて。最初は鉛筆ももてないぐらいい浮腫んでいたのに、鉛筆も持てるようになつたんですよね。

お亡くなりになる当日までお話をしても、カレーを全部食べて、最期にヒーリングさせてもうつた時も「本当にありがとう」さいます」って言って、お亡くなつたのでね。

ヒーリングをしていると、本当に不思議なぐらい偶然の一致

な、つて思うんですね。でも、自分が魂は永遠なんだけことに気づいて、自分の中にしっかりと死生觀が身につくようになつたら、結果、自分の中の安定感や安心感が患者さんに伝わるんですね。だから、亡くなつたし、ご家族からも「中さんがある直前の利用者さん宅とかにも自信をもつて行けるようになつたし、ご家族からも「中さんが来るときなんか安心する」と言つてくれるようになりまし

たしね。やっぱり、それこそが安心して亡くなれるきっかけなんじゃなかつて思うんですよね。

——そうですね。それが、これから「多死社会」において求められる役目ですよ。今度の大坂のシンポジウムに出られる看取り士の柴田さんの活躍とかも本当に素晴らしいと思うんですけども、やつぱり看護に関わっている人、全員がそういうことが出来るようになるのが理想的ですよね。

中 それこそ、スピリチュアルケアに一番こういう分野が活用出来るんじゃないかなって思う

スピリチュアルなグリーフケア

中 以前、がんだった小学生の女の子をお看取りしたことがあったのだけど、最初、お母さんは「ヒーリングで何とか延命させて欲しい」って思つて連絡

して來たんですよ。でも、話を聞いていると明らかにターミナルだったので、これもう受容しないといけないなって思つて、「お母さん、ごめんなさい。ヒーリングって治すだけではないんですよ」っていうお話をさせてもらつたんです。信じるか信じないかは別として、信じるか信じないかは別とこの世だけではないっていう話をさせてもらつたりして。子どもって、お母さんのために何かがホリスティックナースの役目もありますよね。

——そうですね。それが、これがホリスティックナースの役目でもありますよ。

中 それこそ、スピリチュアルケアに一番こういう分野が活用出来るんじゃないかなって思うし、私も、こうじうスピリチュアリズムを勉強していなかつた頃には、死を前にした患者さん達に何で声をかけていいのか分からなかつた。その人のことを思えば思うほど、足が遠のく自分がいて、そういう時つて満足出来るケアが出来なかつた

な、つて思つたんだなって思つて、待つてたんだなって思つたね。お母さんはそれでもすごく落ち着いていて、「本当にありがとうございました」とうございました。最期「生きられてきてくれて、本当にありがとうございました」って、私も主人も娘がどうってお話をさせてもらつたんで、信じるか信じないかは別とこの世だけではないっていう話をさせてもらつたりして。もし中さんと出逢つてなかつたら、一生メッセージをくれて。もし中さんで生きていたかもしだら、後悔の中で生きていたかもしない。こうやってお別れが感謝の中で出来たのは、本当にありがとうございました。こうやってお別れが感謝がたい、つて言つてくれて。これがやつぱり一番スピリチュアリズムというか、スピリチュアルケアとして役にたてただからつていうお話をさせてもらつて、あちらの世界に送り出してあげるというのもひとつ役目だからつていうお話をさせてもらつて、お母さんが娘さんの状態を受け入れて、如何に満足した生き方が出来るように支援していく方でもありますよ。

中 それこそ、スピリチュアルケアに一番こういう分野が活用出来るんじゃないかなって思うし、私も、こうじうスピリチュアリズムを勉強していなかつた頃には、死を前にした患者さん達に何で声をかけていいのか分からなかつた。その人のことを思えば思うほど、足が遠のく自分がいて、そういう時つて満足出来るケアが出来なかつた

で、待つてたんだなって思つたね。

お母さんはそれでもすごく落ち着いていて、「本当にありがとうございました」とうございました。最期「生きられてきてくれて、本当にありがとうございました」って、私も主人も娘がどうってお話をさせてもらつたんで、信じるか信じないかは別とこの世だけではないっていう話をさせてもらつたりして。もし中さんと出逢つてなかつたら、一生メッセージをくれて。もし中さんで生きていたかもしない。こうやってお別れが感謝の中で出来たのは、本当にありがとうございました。こうやってお別れが感謝がたい、つて言つてくれて。これがやつぱり一番スピリチュアリズムというか、スピリチュアルケアとして役にたてただからつていうお話をさせてもらつて、お母さんが娘さんの状態を受け入れて、如何に満足した生き方が出来るように支援していく方でもありますよ。

中 それこそ、スピリチュアルケアに一番こういう分野が活用出来るんじゃないかなって思うし、私も、こうじうスピリチュアリズムを勉強していなかつた頃には、死を前にした患者さん達に何で声をかけていいのか分からなかつた。その人のことを思えば思うほど、足が遠のく自分がいて、そういう時つて満足出来るケアが出来なかつた

お花が揺れたんですって。それを見てお母さんが「娘からのメッセージだと思いました。『お母さん、向こうで元気でやつてるから、悲しまない』って言つてるように思えた」って仰つてくれて。葬儀に参列された方からも、「お母様があんなに凜とされていたのには驚いた」っていう話を聞いたりとかね。お母様がそこまで立派に成長されたっていうことが、何より一番嬉しい出来事でしたね。

在宅医療における目標と現在の課題

—そういうお話を伺っていると、本当にこれからホリスティックナースの普及、靈的なケアが出来るというところを「文言だけじゃなくて、実践してやつていく」っていうことがすごく大事だと思うのですが、

在宅医療における今後の目標と、また、現状の課題があるとしたらそれはどういったものだと思いますか？

中 そうですね。これから二〇二五年問題として高齢社会に入りてしまっているわけですけれども、看護師も足りないって中で、やっぱり地域での見守りっていうのがすごく大事になつてきてると思うんです。

だから、本当に「まだまだ」在宅で看れるという体制をきち

「安心して亡くなる」ことが出来る「安心して亡くなる」とは誰もが願っていることだと思うし、それが在宅で出来るつていうことを皆さんにお伝えしてこれたことは一番良かったな、って思います。病院で亡くなるのも勿論幸せなことかもしれないけれど、やつぱり今まで過ごしてきた環境の中で、どんなに素敵なお花をお見舞いでもらうよりも、自分のお庭に咲いている花を見ながら、自分の置で亡くなれるという安心感って大切ですね。そういう人達を身近に見た

り体験したりする」とによつて、死が怖くなつてくると思うんですよ。みんな知らないから、死を忌み嫌つたり怖い思いをするんじゃないからって思つたりするわけでね、「そんなことないよ」っていうのを伝えていきたい。

また逆に、在宅で看取りが出来るっていうのをまだ知らない人もいるんですね。だって、今はまだ病院でさえ、在宅で看取りが出来ることを知らない方もいらっしゃるしやるしね。特定疾患じゃないと訪問看護は受けられないと思つてる人もいるんですね。

中 それで呼び戻しても「じゃあ何が出来るのだろう」って人もいると思うんですよ。

だから、本当に「まだまだ」在宅で看れるという体制をきち

「安心して亡くなる」とは誰もが願っていることだと思うし、それが在宅で出来るつていうことを皆さんにお伝えしてこれたことは一番良かったな、って思います。病院で亡くなるのも勿論幸せなことかもしれないけれど、やつぱり今まで過ごしてきた環境の中で、どんなに素敵なお花をお見舞いでもらうよりも、自分のお庭に咲いている花を見ながら、自分の置で亡くなれるという安心感って大切ですね。そういう人達を身近に見た

り体験したりする」とによつて、死が怖くなつてくると思うんですよ。みんな知らないから、死を忌み嫌つたり怖い思いをするんじゃないからって思つたりするわけでね、「そんなことないよ」っていうのを伝えていきたい。

だから課題としては、「如何に体制を整えていくか」つてい

うところですよね。24時間体制っていうのも小さなステーションだと対応するのが難しい

暮らせる街づくり、そういうのをやっていくことが先決ですよ。

暮らせる街づくり、そういうのをやっていくためにも、この

能性をいっぱい持つていてるんだと思いますね。「ルミナス」

看護師さんも楽しいケアが出来るつていうところですよね。

看護師さんって、もともとやる気のある人が多いから、やっぱり「やり甲斐を求めてる」んだよね。ケアする側も受けてる側も、「楽しい」っていう看護は大切だと思うんですよ。今、

看護師さんも増えているので、そこ

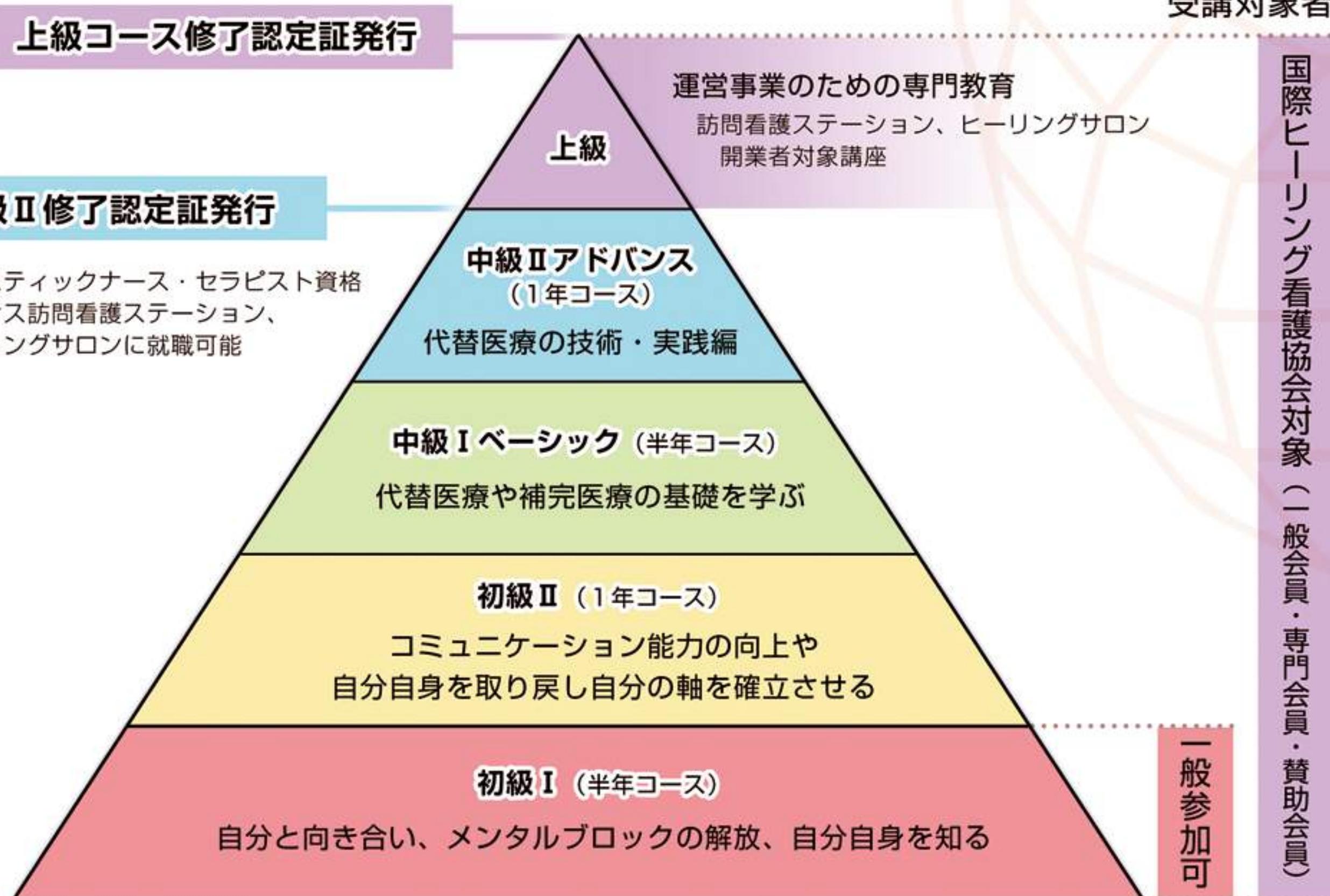
で、ケアをする側も受けている側も、そして、人生を最期の瞬間まで輝いていくような支援をしていく——これが、ホリ

スティックナースとして目指す目標であり、ルミナス訪問看護ステーションとしての目標でもあります。（取材日：3月5日）



▲「ルミナス訪問看護ケアステーション」は、スタッフみんなの笑顔を大切にする職場です。

アルミナス ホリスティックケア アカデミー開校



学校説明

LHCAの最終目標は、上図のピラミッド頂点にあたる上級コース「ホリスティックケア」を提供する訪問看護ステーションの管理者育成」にあります。

しかし、その基礎たる部分では「看護師自身が『自分軸』を確立している」ということが大切になります。何故なら、他者様の命や人生に関わらせて頂く私たち看護師が「周囲に惑わされ、自己を見失っている」ようでは、全く話にならないからです。

しかし残念ながら、看護師や医療・福祉従事者には「周囲に惑わされ、自己を見失ってしまっている人」が多く散見されます。周囲の人間関係に疲弊し、苛酷な労働環境に疲弊し、忙殺される毎日に疲弊し、挙げ句の果てには「何故、自分は看護師になりたいと思ったのだろう」と初心を忘れてしまう結果となり、離職する人達も少なからずいるのが現状なのです。

そこでLHCAでは、まず「自分と向き合い、メンタルブロックを解放していく」ということを初級コースの基礎においています。見失つてしまつていています。

新たな看護師・医療従事者像に向けて LHCAの目指すゴール

今までの看護教育の中では、自己犠牲的に「患者様に、仲間

た自己を取り戻した後は、初級Ⅱとして「他者との間でも、自分の軸を維持できる状態」を目指し、そこが出来上がつてから施術の基礎や実践を学ぶコースへ進む仕組みとなっています。（施術を学ぶだけの技術スクールではなく、「その施術を行う人格を育成する為のコース」）を設定しているのは、IHANオリジナルのスクールシステムといえるでしょう。

中級Ⅰと中級Ⅱの約1年半のコースを修了した後は、認定試験を受けて、無事修了すると「ルミナス・ホリスティックナース」としての認定修了証が発行されます。その後「管理者コース」に進むか、或いはしばらくホリスティックナースとしての経験を積みたいということであれば、千葉にあるIHAN本部の「ルミナス訪問看護ステーション」、および東京の「森のこもれび」にて実践経験を積むことができます。

LHCAが目指すゴールはまさにそこであり、看護師、そして患者様（利用者様）、共に連携して働くケアマネージャーや医師やヘルパー、介護士、セラピストなど、すべての人が共に助け合い充実したケアの実践を行つていけることがあります。

看護師としての在り方を変えたいと思っている方は、ぜひ、ホリスティックナースになる道を検討してみては如何でしょうか？

私たちIHANは、そんな皆

クリニック 真 健 庵



吉村尚美先生

人間の体は、電気的信号と
か磁気的信号を出しています。
心電図、測られたことあるで
う。未病の段階では分からな
い。病気が分かるようにな
らない。未病の段階では、未病
の段階では分からないんですね。
うちには未病の段階で分かる機
械がありますから、こういう病
気になる可能性があるよ、とい
うことをお前にお知らせするこ
とが出来るんです。

クリニック真健庵は、一昨年の12月にオープンした「未病のうちに病気を防ぐ」ことを目的としたクリニックです。自由診療ですので、「既存の医療という枠組みに囚われず、本当の健康の意味を追求することが出来る」とも言えるでしょう。

そんな斬新なクリニックの創設者である、吉村尚美先生にお話を伺いました。

私は「薬を使う」っていうことをしたくなかったので、予防医学を普及させるために新しい医療を目指してここを立ち上げました。

一般的に、みんな薬に依存していることが多いじゃないですか。医療保険が安いものだから、安易に薬に手を出しているんだよね。薬屋さんにいけば、何でも薬が手に入るでしょ。風邪薬にしても何にしても。「病気になつたら、薬を飲めばいいや」と思っている人が多いですね。食事に関しては、ほとんど気遣ってない人が多い。添加物分かつてない人が多い。添加物かなきやならないな、と思って。

本来なら、病気になる前に、病気が分かるようになければならない。健康診断では、未病の段階では分からないんですよ。うちには未病の段階で分かる機械がありますから、こういう病気になる可能性があるよ、ということをお前にお知らせすることができるんです。

▼ 真健庵のオリジナルメニュー。
味も最高でした！（一食1500円+消費税）



▲ 未病の状態でどんな病気になる可能性があるか知ることが出来る「高次元ドック(検診スキャナ)」



▼ クリニックとは思えないほど趣のあるお庭。
今までの医療施設の常識が覆されます。



江戸時代には「予防医学」が普通だつたと言われています。乾布摩擦や冷水をあびて、健康的な体を維持したり免疫力をあげていたときれています。

私たち現代人は、医学の発達において「病気は、医者が治してくれるもの」という思い違い

しょ？あれを、皆さん「自分が電気的信号を出しているから、それを測ってる」なんて思つてやつてないですよね。だけど、あれは体が電気的信号と磁気的信号を出しているから測れるわけなんですよ。

各臓器には磁気信号とか各周波数とかありますので、そういうのを測る機械があるわけですよ。それを測つてみると、不調の原因が分かる人も出てくるし。それが未病の状態で分かると、こういう生活をしていると病気になるっていうのが事前に分かるわけなんですが、それを知らないまま生活している人達っていうのが多い。

だからこのクリニックでは、生活指導もしています。食事の内容を含めてね。それで「どういうものを食べていいのか分からぬ」という人のために、「うちの真健食としてね、こういふ食事を食べたらいいですよ、っていうのを見せるんですよ。

第一優先にした方が、一番確実で安全な老後の未来が築けることでしょう。（文責 篠崎由羅）

クリニック真健庵では、未病の段階で病気を防ぎ、健康な状態を出来るだけ長く維持出来るような生活指導や予防を指導してくれます。40代でまだ病気知らずの方も、「将来自分がどのような病気になるのか」の可能性を今のうちに知つておき、生活改善をすると良いかもしれませんね。年金のことを心配したり老後の貯金額を心配するよりも、「健康でいられること」を第一優先にした方が、一番確実で安全な老後の未来が築けることでしょう。

クリニック 真健庵

JR・京急線「品川駅 高輪口」より徒歩10分
〒108-0074 東京都港区高輪4-18-10

<http://clinic-shinkenan.com/>
03-6447-7818

ご予約・お問い合わせは上記ウェブサイトまたは、お電話にて受付しております。

4月20日 開講

開華セミナーの魅力に迫る！

4月20日から
ルミナス ホリスティックケア アカデミー
初級Ⅰ 「開華セミナー」が
開講します！

——開華セミナー開催の背景について、教えて頂けますか？

村松先生（以下、村松） そうですね。「世界を平和にするのには、どうしたらいいんだろう」という疑問がきっかけでした。

子どもの時に小学校の視聴覚室で見た栄養失調の子達の姿が

とても衝撃的で、「え？ 僕たちと同じ人間なのかな」というショックを受け、何でこんなことが起こるのかっていうこと

を考へたりするようになつたん

です。学生時代や、卒業した後

も海外に行く機会がたびたび

あつたのですが、色々と考えさ

せるきっかけとなつたんですよ。もちろん、端的に（NGO

などのように）草の根的な活動

を広げていって助けるっていうことも重要なんですけど、「根

底の部分にある意識がしつかり

目覚めていれば、こういう事態

は防げるんじゃないかな？」と考

——開華セミナーって、何だろう？」って首を傾げている方も多いかと思いますが、ひとえに「才能を開華させる」だけでなく、「その人の人生そのものを、根幹から目覚めさせる＝開華する」というセミナーになります。今回、村松大輔先生を取材させて頂き、「開華セミナーの魅力」と「医療従事者に向けてのメッセージ」についてご紹介いたします。

えるようになりました。

意識が目覚めた人達だけになってしまえば、こういうことにはならない、そのための仕組み作りをどうやっていけばいいのかなと、考えたのがそもそものスタート地点でしたね。

すなわち意識の部分の開拓で

すよね。お金をもらつてそれを麻薬に使つてしまふのではなく、自己投資として教育のために使つたりという部分を伝えていったり、内なる自己と繋がることで、意識はこの体だけじゃなくて宇宙とも繋がっているん

だよつていうことを伝えていつたり、そこから肉体を通して自分的人生を顕現していくことが何よりも大切だということを伝えていくことで、意識が目覚めた人が自ずと増えていく。そ

ういう感じです。

知恵として開華セミナーはあるんですが、プラス、知恵だけじゃなく日常の中でも体感をして

もうつて、後は日常生活にそ

——今のお話の中で「宇宙と意識が繋がっていく」っていう話が出ていましたが、それは何かありましたか？

村松 徐々に徐々に、体験を通して気づいていったという感じです。

人とやりとりをしながら「相手も自分だ」という意識を持ちながらやりとりすることによって、相手の気持ちがすぐ伝わってきます、「あれ？ 何かつまっているな」っていう時に、自分がから自分で開示した瞬間、相手が勢いよく話をしたりなど、体験を繰り返すうちに、「自分は今、ここにある自分だけじゃない。相手もまた自分自身なんだ」っていう気づきに至つた、という感じです。

そのことを体感出来るようにして、日常体験を今までと違うステージからみてもらうことが重要です。実際これは科学的な根拠もあって、ノーベル平和賞にノミネートされたアーヴィング・ラズロ博士（※1）は自分の体験を繰り返すうちに、「自分も人間や物質の粒子、原子、量子のそのまた奥にあるゼロボイント・フィールドが宇宙全体でその意識を包み込んでいる」と言っています。

——先生のお話にはよく「ゼロボイントフィールド」というものが出てきますが、それについて教えて頂いてもいいですか？

——私たちの体つて胃とか心



講師 村松大輔

1975年生まれ
群馬県沼田市在住。
日本メンタリスト協会メンタリスト養成講座修了。
全空連公認空手道5段。
空手歴30年、空手指導歴14年。東京大学工学部卒。

～新時代の寺子屋～
数学・能力開発塾『開華』代表
<http://kaika-goodall.org/>

臓などの臓器で出来ていて、それをまたミクロに分解していくと細胞に到達し、細胞はさらに分子・原子で出来ていて、原子の中に原子核が入っていて、原子核の中に中性子が入っていて、さらにその中には素粒子が入っています。素粒子が何で出来ているかというと、超ひも理論のひも^(※2)ですね、輪ゴムみたいなものが「ご」と「ご」によく動いていて、ついたり消えたりついで消えたりすごい勢いで繰り返していて、その紐を発生させている莫大な海というかエネルギー源が「ゼロポイントフィールド」っていうフィールド、いわばゼロ・ポイントエネルギーっていうのになります。だから、素粒子の根源のエネルギーが「ゼロ・ポイントエネルギー」になるわけです。

——なるほど。では、そのフィールドなりエネルギーとは「ここ、そこ」全てにあるっていうわけですね。

村松 そうです。体も空気も素粒子、酸素、窒素、分子も素粒子だし、机もそうだし、お月様もそうだし、月と月の間の無の状態もゼロ・ポイントフィールドで満たされています。ゼロポントフィールドに時間も空間も物質もすべて入っているんですよ。だから、エネルギーには

熱も入っているし、言葉のエネルギーも入っているし、時間的データも、恐竜時代のデータも、ピックパンの時のデータも、五〇〇〇年後のデータも、情報としてすべて組み込まれていて、それもゼロ・ポイントフィールドとして含まれていることに

子核の中に中性子が入っていて、さらにその中には素粒子が入っています。素粒子が何で出来ているかというと、超ひも理論のひも^(※2)ですね、輪ゴムみたいなものが「ご」と「ご」によく動いていて、ついたり消えたりついで消えたりすごい勢いで繰り返していて、その紐を発生させている莫大な海というかエネルギー源が「ゼロ・ポイントフィールド」っていう

村松 西洋医学的なものは端的なもので、日先必要だけど本質的なホリスティックなどころはあまり得意ではないかもしないので、「全体を診る」という視点を伝えていきたい、って思っています。

——今回LHCAで開華セミナーを行うにあたって、特に医療従事者に向けて伝えたいポイントなどはありますか？

——今回LHCAで開華セミナーを行うにあたって、特に医療従事者に向けて伝えたいポイントなどはありますか？

意識になれるように医療従事者が向き合えるようになれる、患者さんだけでなく、向き合う医療従事者でさえも癒されてしまうのです。

もともとね、その病気を生まれつきもつてそのままお亡くなりになるつていう天命のもとで、その病気をもつてているようない人もいるだろうから、本当に心をほぐせるような癒しとか、そういう接し方が出来る医療従事者が増えて頂きたいなって思います。

もともとね、その病気を生まれつきもつてそのままお亡くなりになるつていう天命のもとで、その病気をもつてしているようない人もいるだろうから、本当に心をほぐせるような癒しとか、そういう接し方が出来る医療従事者が増えて頂きたいなって思います。

開講日 2016年4~8月 第3水曜日 10:00~12:00

- 第1回 4月20日 【言葉が素粒子を動かす】～引き寄せの法則～
- 第2回 5月18日 【意識を高め 器を拡大する】～自己肯定感の向上～
- 第3回 6月15日 【『せいで』を『おかげ』】～トラウマを昇華する～
- 第4回 7月13日 【魂と科学】～『魂』とは『データ』である～
- 第5回 8月17日 【ミッション】～『生命の成り立ち』そして使命・天命とは～

会場 【新宿】NOF新宿南口ビル 4F

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-4-9

- ・都営新宿線/都営大江戸線/京王新線 新宿駅A1出口 徒歩1分
- ・JR新宿南口 徒歩3分

お申し込みは 4月13日まで、
<http://npo-ian.net/academy/> または、
FAX 020-46642838 にて受付しております。

※1 アーヴィング・ラズロー
 Ervin Laszlo
 一九三二年、ハンガリー、ブダペスト生まれ。ピアニスト、哲学者、未来学者。ニューヨーク州立大学教授、ベルリン国際平和大学理事・教授、ユネスコ顧問等を歴任。世界賢人会議「ブダペストクラブ」を主宰。ミニクロの世界から、人間社会、宇宙までを貫く原理とその構造を探求する「システム哲学」の研究と発展に努める。

※2 超ひも理論
 「ひも」で出来ているという物理学の説。そのひもが振動したり回転したりすることによって粒子になつていて、それが現れるといふことである。

重症心身障害児の看護経験があり、在宅で看護できないかと長いこと考えています。ですが、近所の障害児の在宅を受けています。訪問看護ステーションは（勤務したことがあります）、児が安全に身体管理を受けることがあります。児が安全に身体管理技術だとすら難しい状況でした。身体管理技術だけじゃ足りない。母子が良好な関係が築ける具体的なアドバイスや、母親の辛い気持ちを救うヒーリングのようなものや、薬に頼らない児への看護が必要なんじゃないかと思います。貴協会に出会えたことで、これから自分が理想とする在宅看護ができる可能性を確かめたいと思います。

同じ思いの方々が頑張っていることを知り、とても励まされました。多くの方へ必要なヒーリングが届けられますように。

私はアロマセラピー、カラーセラピーなどに興味をもっており、認知症の方の癒しに活用していきたいと思っています。ぜひ一緒に勉強させてください。よろしくお願ひいたします。

私も、一人ひとりの方が輝いていける「生き方」のお手伝いをしたいです。応援しています。

以前からホリスティック医療を取り入れました。そんな時にたまたまこちらの情報を知り参加させていただきたいと思いました。これからも頑張ってください。応援しています。どうぞよろしくお願いします。

**応援メッセージ募集中！！
みんなの応援がIHANの活力です。**

皆様から頂いた 応援メッセージ

知らず知らずのうちに自分の一番大切なこころに蓋をし身体の本当の声を押し殺している方々が多いのです。自分もどん底まで経験した体験談を元に本当の解放をお伝えしたい。ヒーリング看護協会の存在はこれから多いに必要とされるところから感じています。いつも繋がっていたいとおもいます。出逢いに感謝いたします。

在宅医療はこれからどんどん充実してほしいと思います。また人間の体は自然なもので自然的な看護を模索しております。それを仕事として自立できたなと思いますがなかなかできないでいます。そこを勉強したいです。末期であっても施設などを利用しないでなるべく自宅などで人権を守られた時間を過ごしてほしいと思うので在宅自然看護はぜひとも確立してほしいと思います。

**発行者 NPO国際ヒーリング看護協会 | 理事長 中ルミ | 文責・編集 篠崎由羅
千葉県千葉市稲毛区小仲台6-2-7 富士ビル501 TEL 043-306-7454**

<http://www.npo-ihan.net>

**アクア鍼灸治療院
アクア鍼灸整骨院**

☎ 043-207-9800
<http://aqua39.jp/>

千葉市稲毛区園生町873-4
保険訪問リハビリ・マッサージ

**光のお守り
サンキヤツチャード**

贈る喜び
もらう喜び
お部屋を彩る
サンキヤツチャード
いかがですか？

～風と大地と精霊と～
Gaia-Breath

<http://www.gaiabreath.net/>

**森のこもれび
訪問看護ケアステーション**

ヒーリングやセラピーを
訪問看護のケアに取り入れ、
トータルなケアの提供を心がけています。

TEL:03-5738-7823

森のこもれび、訪問看護

自然科学健康増進会本部事務局
山梨県北杜市須玉町江草 9506

お問い合わせ
増富の湯

TEL 0551-20-6500
FAX 0551-20-6515

**癒しと不思議の科学
自然科学健康増進会**

広告・協賛募集中

IHANの会報やチラシに広告を掲載してみませんか？このサイズが1口（横5cm×縦7cm）となります。他にも複数サイズがございますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

npo.ihan@live.jp

NPO国際ヒーリング看護協会本部

第 1260190504 号

**ルミナス訪問看護
ケアステーション**

TEL:043-306-7454
千葉市稲毛区小仲台6-2-7-501

池川クリニック

<http://ikegawaclinic.net/>

TEL * 045-786-1122

*予約不要
*休診日（日・祝・年末・年始）

横浜市金沢区大道2-5-13

Luminous Healing Salon

<http://luminous-healing.jimdo.com/>

東京都千代田区平河町 2-7-9
JA共済ビル 3C
「千代田心療クリニック」内

090-4222-7410
オーナー 天野博